

Rural-tech^{*1}が日本の未来を拓く

～田舎と最先端テクノロジーが出会い 実現する地方創生の未来とは？～

田舎×最先端テクノロジーの化学反応によって、どのような地方創生モデルが生まれるか？
産・官・学の第一線で活躍する関係者が集い、北海道そして日本の未来に向けて議論します。

日時

2017年8月29日（火）
15：00～17：00
（開場14：30）

会場

ホテルポールスター札幌
2Fポールスターホール

対象者

地方自治体、民間企業、研究
機関、地域活性化に取り組む
団体等

参加費

無料
定員100名（先着順）

基調講演



北海道のSociety5.0^{*2} 化作戦

山本 強氏

北海道大学大学院
情報科学研究科
特任教授

【プロフィール】

1953年 北海道夕張郡長沼町生まれ。1978年 北海道大学大学院修士課程修了後、富士通株式会社などを経て現職。北海道大学情報基盤センター長、北海道大学産学・地域協働推進機構副機構長などを歴任。研究活動はコンピュータグラフィクス、情報ネットワーク、IoT、医用情報処理など広い範囲に及ぶ。産学連携活動として、大学発ベンチャー企業 株式会社メディカルイメージラボの設立に参加するなど、札幌のIT分野企業に対する技術移転を積極的に実施している。

*1 「Rural-tech」とは、高度な科学的知識を、田舎の地域課題解決と未来創造のために工学的に応用する方法論を言います。ITリテラシーを問わず、高齢者を含め誰でも意識することなく使えるユーザビリティと最先端テクノロジーの両立を目指します。

全体プログラム

- 基調講演 「北海道のSociety5.0化作戦」
北海道大学大学院 情報科学研究科 特任教授 山本強氏
- 国の施策紹介「これからの地方創生の方向性」（仮称）
内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局
「国の科学技術・イノベーション戦略」
株式会社N T Tデータ経営研究所 シニアマネージャー 石丸希
- パネルディスカッション「Rural-techと未来の地方創生モデル」
北海道大学大学院 特任教授 山本強氏
上川町 副町長 谷博文氏
エコモット株式会社 代表取締役 入澤拓也氏
株式会社調和技研 代表取締役 中村拓哉氏
北海道田舎活性化協議会 総括アドバイザー 大山慎介氏
コディネータ：株式会社N T Tデータ経営研究所 エキスパート長・パートナー 矢野勝彦

主催：株式会社N T Tデータ経営研究所／共催：北海道田舎活性化協議会
後援：北海道大学 産学・地域協働推進機構

申込方法

出席ご希望の方は、下記の宛先まで必要情報を記載の上、電子メールにてお申し込みください。

- 氏名（ふりがな）
- 電話番号・電子メールアドレス
- 所属（団体名・部署）

※件名を「シンポジウム申込み」としてください。

【申込宛先】

society5.0@keieiken.co.jp

申込締切

8月25日（金）

参加希望者が定員を超えた場合には先着順とさせていただきます。お席に余裕がある場合は当日の受付も致します。



会場住所：札幌市中央区北4条西6丁目

アクセス：JR札幌駅南口徒歩5分
地下鉄さっぽろ駅徒歩6分／地下鉄大通駅
徒歩10分

「北海道Society5.0研究会」のご案内

株式会社NTTデータ経営研究所では、北海道田舎活性化協議会※3とともに、課題山積の田舎に最先端テクノロジーを組み合わせることによる新しい（未来の）地方創生モデルの検討と実証研究を進めるために「北海道Society5.0研究会」を設立します。

このシンポジウムは、当該研究会の設立を記念して開催するものです。「北海道Society5.0研究会」にご関心のある地方自治体、民間企業、団体等の方は、下記【お問合せ先】までご連絡下さい。

「研究会で検討予定のテーマ分野と仕組み・手法」

テーマ分野

観光

農業

健康
・スポーツ

交通

住宅
・ライフスタイル

防災

仕組み
・手法

シェアリングエコノミー

ブロックチェーン・仮想通貨

AI（人工知能）・ロボット

オープンデータ・ビッグデータ（官民データ利活用）

IoT・ICT

*2 「Society5.0（超スマート社会）」とは、必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かく対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会のことです。

*3 「北海道田舎活性化協議会」とは、2016年6月設立になるにつぼんの田舎の元気モデルを実践的に進める協議会です。道内10町（厚沢部町、厚真町、浦河町、上川町、喜茂別町、鹿部町、新得町、美幌町、松前町、利尻町）が中心となり田舎と都会、そして企業を結びつけ、ヒト・モノ・情報の流れを生み出し田舎活性化モデルを構築する活動を展開しています。

【お問合せ先】

株式会社NTTデータ経営研究所

ライフ・バリュー・クリエイションユニット

佐野（さの）、石上（いしがみ）、新見（にいみ）

society5.0@keieiken.co.jp ・ 電話：03-5213-4091（佐野）